

陸前高田発

しあわせ音頭



まちを元気にしようと、陸前高田商工会の女性部が全国から寄せられた義援金を活用して踊り付きの歌「陸前高田・しあわせ音頭」制作し、お披露目しました。作詞作曲は大船渡市出身の歌手大沢桃子さんです。会場では女性部のメンバー30人がそろいの着物で手踊りを披露。震災前の町並みが目に浮かぶ歌に大きな拍手が送られていました。今後、女性部のメンバーが市内の婦人会や高齢者たちへ踊りを広めるとともに、施設などの慰問を通して市民に元気を届けていくことにしています。

(11/7 ニュースエコー)



宮古発

水産総合研究センター 再建



津波により全壊した独立行政法人水産総合研究センターの宮古庁舎が再建されました。被災以前は漁獲を増やすことを目的にカレイやニシン

などの稚魚の放流を行ってきました。再建された施設では特にアワビの資源回復やサケの回帰率アップを目指した研究体制が強化されることになっており、水産業の復興に向けて期待が寄せられています。(11/7 ニュースエコー)



山田発

「カキの食べ放題」



山田町の「かき小屋」で、今シーズンも「カキの食べ放題」が始まりました。かき小屋の人気はなんといっても蒸し焼きしたカキの「食べ放題」で

す。特に今シーズンの山田のカキは自慢の鮮度もさることながら、震災後、種付けをして初めて収穫できたもので、地元水産業のいわば復興のシンボル。山田町のかき小屋の「カキ食べ放題」は完全予約制で来年ゴールデンウィークまで行われます。(11/8 ニュースエコー)

岩泉発

東北希望コンサート

岩泉町立大川小学校で「第23回歌を絆に～東北希望コンサート」が開催されました。ゲストは北上市在住のアンダーパスのお二人で「さんてつうた」「たらしら」など



5曲を披露。全校児童15人とご父兄約30人が一緒になって、楽しい時間を過ごしました。(11/8)

大槌発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はおおつちさいがいFMの金崎伊保子さんが、大槌町で開かれている各地区のワークショップ分科会について伝えてくれました。これは町の将来について考えるもので、例えばメイン通りとなる県道の幅をこれまでの12mから18mに広げる計画もついて、「道幅が広がると向かい合う地域のコミュニティが分断されるのでは？」などの意見が出されました。町づくりについては考えが様々ですが、自分たちの事だけに皆真剣に話し合い検討を続けるという事です。また、「津波で写真が流された人たちのために100人分の写真を撮り、フォトブックにして渡すことで町の人達に笑顔の輪を広げたい」という釜石の高校生みすずちゃんの写真展についても伝えてくれました。(11/13)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122